



## 【オプジーボ＋ヤーボイについて】 (ニボルマブ＋イピリムマブ)



☺ **薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42		
生理食塩液		15分	☺																					☺																						
ニボルマブ注(オプジーボ)	抗がん剤	30分	☺																					☺																						
生理食塩液		30分	☺																																											
イピリムマブ注(ヤーボイ)	抗がん剤	30分	☺																																											
生理食塩液		15分	☺																					☺																						

この週はお休みです。

この週はお休みです。

この週はお休みです。

この週はお休みです。

### ☺ オプジーボ、ヤーボイの作用 (ニボルマブ＋イピリムマブ)

- ・私たちの体の中では、免疫細胞が、がん細胞などの異常な細胞を攻撃、排除しています。
- ・しかし、がん細胞は免疫細胞の働きにブレーキをかけ、その攻撃から逃れる事が分かってきました。
- ・この抗がん剤は、免疫細胞の働きにがん細胞からのブレーキがかからないようにします。
- ・この結果、免疫細胞は攻撃力を取り戻し、がん細胞を再び攻撃する事ができるようになります。

### ☺ オプジーボ、ヤーボイ治療による副作用 (ニボルマブ＋イピリムマブ)

- ・軽度の皮膚障害(発疹、かゆみなど)は、早期におこることが多いです。
- ・注意を要する副作用の**一部** (【】かっこ内は症状の例)
  - 間質性肺疾患 【息切れ、息苦しい。咳が出る。発熱など】
  - 大腸炎、重度の下痢【下痢あるいは排便回数の増加。便に血が混じる、便が黒い。吐き気、嘔吐。腹痛など】
  - 1型糖尿病 【口が渇く。たくさん水分が欲しくなる。尿の量や回数が増える。疲れやすい。体重が減る。吐き気、嘔吐。腹痛など】
  - 甲状腺機能障害 【気力の低下。疲れやすい。まぶたが腫れぼったい。さむけを感じる。体重が増えるまたは減るなど】
  - 重症筋無力症 【まぶたが下がったまま戻らない。物が二重に見える。手足に力が入らないなど】
  - 薬剤の注入に伴う反応(点滴中または投与後) 【吐き気、嘔吐。注射部位のほてり、痛み。かゆみ。息切れ、息苦しい。発熱など】
- ・**その他の副作用や副作用の詳細は、別にお渡しした説明冊子を参考にしてください。**
- ・今後の外来での治療に際して、自宅での症状確認の参考としますので、お渡しした説明冊子の治療日記に記入をして下さい。



- \* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい。  
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター薬剤部(代表)052-991-8121